

88~90日の中晩生で、穂が大きく、甘く軟らかで作りやすい

(一代交配)

トウモロコシ

わくわくコーンTM88

Sweet Corn, Wakuwaku Corn 88 Hybrid



カネコ種苗株式会社

TEL. 027(251)1611(代)

88~90日の中晩生で、穂が大きく、甘く軟らかで作りやすい

(一代交配)
トウモロコシ

わくわくコーンTM88

Sweet Corn, Wakuwaku Corn 88 Hybrid

●特性●

- (1) マルチ～露地栽培・抑制栽培に適する
生育日数88～90日程度の中晩生イエローコーンです。
- (2) 穂重は450～500g程度で大きく、先端稔性も良好です。
- (3) 甘さが強く粒皮が軟らかい、食味の非常に良い品種です。
- (4) 包被も濃緑で、露地栽培でも先端露出になりにくいです。
- (5) 発芽、初期生育が良く、倒伏にも強いので安定感があります。
- (6) 最近流行の抑制栽培でも、穂が大きく、作りやすい中晩生品種です。

●栽培要点●

(1) 播種適期

本品種は88～90日型ですが、穂が大きいため、トンネル栽培等で早期に収穫する作型ではなく、マルチ～露地、抑制作型で、日数がかかっても穂の大きい特性を活かします。関東地方平坦地のマルチ栽培であれば、4月上中旬からが適期です。

(2) 圃場準備と施肥

排水が良く、有機質に富んだ、肥沃で乾燥しにくい圃場が適します。播種の2週間前までには、10a当たり完熟堆肥2t、苦土石灰100kg、燐燐60kgを施用し、深耕しておきます。

元肥として、化成肥料をN・P・Kの成分量で25・25・25kgを施用します(トンネル栽培の場合は20%程度増量します)。「ベストマッチ」などの緩効性肥料を使うと発芽と生育が良く揃います。

(3) ベッド作りと栽植本数

栽植本数は、4,000株/10a(平均畦幅80cm・株間30cm)程度にします。例として、9230マルチなどを使い、ベッド間は80cm程度にします。ベッド間を広く取ると、受光面積が拡大し穂が大きくなり薬剤散布や収穫作業が楽になります。

寒い時期の作型では、透明マルチで地温を上げ、遅い作型では、黒マルチで雑草を抑えます。トンネル資材は、有孔ポリや穴なしなどを時期によって使い分けます。

(4) 播種

地温13℃を目安として、1穴3粒程度播種します。

育苗する場合は、200穴程度のセルトレーを用い、2葉期ごろ定植します。植え休みがあると穂が小さくなるので、保水と保温に気を付け活着をよくします。

また、1回の播種の収穫適期は3日程度なので、出荷できる量ずつ播くようにします。

(5) 間引きと追肥

3～5葉期に、残す株の根を傷めないようにカッター等で切って間引きし、1株立ちにします。

追肥は、膝丈期と絹糸抽出期に、N・K成分で各5kg/10a程度を行います。

(6) 除けつと除房

分けつ枝からは、養分が転流されて穂が大きくなり、根張りも良くなり倒伏防止にもなるので、除けつせず残しておきます。絹糸抽出後、早い内に一番上の穂だけ残して除房すると穂が大きくなります。

(7) 害虫防除

穂や莖に食い込むアワノメイガやオオタバコガ、アブラムシの防除の薬剤を、雄穂抽出期から1～3回程度散布します。特にトンネル作型以降は、虫害が増えるので、念入りに防除します。

(8) 収穫

絹糸抽出後、22～25日頃が収穫適期です。若採りすぎると甘さが薄く、過熟だとしなびてしまうので、暑い季節の時は、20日過ぎ頃から注意して収穫適期を逃さないようにします。

なるべく早朝に採り、甘さが保持できるように低温に保ちつつ出荷します。

※「ベストマッチ」のお問い合わせはこちらまで。
カネコ種苗(株) 農薬部肥料推進グループ TEL027(251)1616

●栽培作型●

		2	3	4	5	6	7	8	9	10
冷涼地	マルチ				○	○		■	■	
	トンネル		○	○		■	■			
中間地	マルチ			○	○		■	■		
	露地				○	○		■	■	
	抑制						○	○	■	■
暖地	トンネル	○	○			■	■			
	マルチ		○	○		■	■			
	抑制							○	○	■

○・○ 播種期 — 生育期 ■ 収穫期 ◩ トンネル

※播種時期や収穫時期は、栽培条件(天候、圃場条件、資材等)により変動しますのでご注意ください。

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12
TEL. 027(251)1611(代)

一般社団法人
日本種苗協会
登録番号 10001号

取扱店